

令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 「科学技術賞（開発部門）」受賞

2021年4月6日に令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰が発表され、ネットワーク開発部の音洋行、中島 佳宏、多摩支店の長谷川 伸也、ドコモ・テクノロジー株式会社の内山 靖之、日本電信電話株式会社の尾花 和昭氏が、「複数ベンダの通信機能が動作するNFV基盤の開発」の功績により、「科学技術賞（開発部門）」を受賞しました。

科学技術分野の文部科学大臣表彰とは、「科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする」もので、文部科学大臣から授与されます。

今回受賞した「複数ベンダの通信機能が動作するNFV基盤の開発」は、移動体通信を構成するパケット交換や音声通信などの複数ベンダのコアネットワーク機能を、汎用ハードを用いた仮想化基盤上で動作させるものです。移動体通信をより強靱で、柔軟かつ経済的に実現するネットワーク仮想化（NFV：Network Functions Virtualisation）の基盤技術を実

現し、またNFVの国際標準化を主導したことが評価されました。

本成果は、安定した通信サービスの継続的な提供に貢献しているだけでなく、通信事業者におけるNFV商用化の、世界の先行事例であり、業界における変革のロールモデルとして、移動体通信業界に寄与しています。

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。

